令和7年2月19日

参議院議長 関口昌一殿

参議院改革協議会座長 松山政司

参議院改革協議会報告書

本協議会は、「参議院の組織及び運営の改革に関する諸問題」について調査検討を行い、「委員会等における参考人のオンラインによる出席」について結論を得たので、別紙のとおり報告する。

委員会等における参考人のオンラインによる出席について

委員会、調査会及び憲法審査会において、学識経験者等の参考人からの意見聴取及びこれに対する質疑を行うことは、委員会等の審査又は調査の充実のために必要不可欠なものとなっている。参考人制度の趣旨を踏まえ、より多様な意見を聴取する機会を設け、委員会等の活動を一層充実させるため、自然災害による被災者や遠隔地の居住者、育児・介護その他の事由により本院に来訪することが困難な者からの意見聴取等を容易にする方策としてオンラインを活用する意義について、各会派の共通認識を得た。

その上で、委員会等における参考人について、オンラインによる出席を認めることとし、これを明確化するため、参議院規則及び参議院憲法審査会規程の所要の改正を行うことで、大方の意見が一致した。

なお、委員会等の活動の中で学識経験者等からオンラインで意見聴取を行うことには賛成であるが、法規上の「出席」の概念を広げる可能性がある本院規則等の改正には慎重であるべきとの意見や、本院規則等の改正を要しない委員打合会の方法により実施すべきではないかとの意見があった。

また、参考人のオンラインによる出席に当たっては、必要な通信環境の整備やセキュリティ対策を講ずるとともに、本人確認の方法や通信環境に不具合があった場合の対応等についてあらかじめ定め、円滑な議事運営を確保する必要があることを確認した。

(本院規則等改正案)

参議院規則

第百八十六条 委員会は、審査又は調査のため、参考人の意見を聴くことができる。

委員会が参考人の出席(情報通信技術を利用する方法による出席を含むものとする。)を求めるには、議長を経なければならない。

参議院憲法審査会規程

第十八条 憲法審査会は、審査又は調査のため必要があるときは、議長を経由して参考人の出席(情報通信技術を利用する方法による出席を含むものとする。)を求め、その意見を聴くことができる。

(参考)

委員会等における参考人のオンラインによる出席について（対応例）

1. 自然災害による被災者や遠隔地の居住者、育児・介護その他の事由により本院に来訪することが困難な者が参考人候補者となった場合には、理事会又は幹事会の協議により、オンラインによる出席を認め、意見聴取等を行うこととする。

2. 各委員会等において参考人のオンラインによる出席を認めるときは、必要なセキュリティ対策を講ずるとともに、本人確認の方法や通信環境に不具合があった場合の対応等についてあらかじめ定め、円滑な議事運営を確保するものとする。
 - (1) セキュリティ対策の観点から原則として本院が指定する Web 会議システムを使用することとする。Web 会議システムの接続に必要な情報は、オンラインにより出席する参考人本人にのみ通知し、第三者に漏らしてはならないこととする。

 - (2) 委員会等の開会前に、オンラインにより出席する参考人に対し、本院からあらかじめ参考人宛てに送付する依頼状により本人確認を行うこととする。

 - (3) オンラインにより出席する参考人は、静穏な場所から Web 会議システムに接続し、会議中、議事とは関係のない映像や音声を送信されないよう留意することとする。また、オンラインにより出席する参考人は、原則として当該場所に他の者を同席させることができないこととするが、機器操作の補助等のため随行者に相当する者を同席させる必要がある場合は、事前登録の上で認めることとする。

(4) 開会中、通信が途切れる等、通信環境に不具合が生じた場合は、委員長等は、通信が復旧するまで待機する等の措置を採り、その間、理事等と協議することとする。復旧させることが困難と判断された場合は、発言順序の変更や他の出席者のみで会議を継続する等、柔軟に対応することとする。通信途絶が解消せずオンラインにより出席する参考人が意見陳述をできなかった場合は、必要に応じ意見の要旨を会議録に掲載する等の措置をとることで対応することとする。

上記のほか、実施の詳細は、各委員会等に委ねることとする。

各委員会等で参考人のオンラインによる出席について問題が生じた場合には、議院運営委員会理事会に報告し、必要な措置を講ずることとする。

参議院改革協議会

座長	松山	政司 (自民)
協議員	中西	祐介 (自民)
同	堀井	巖 (自民)
同	渡辺	猛之 (自民)
同	小西	洋之 (立憲)
同	田名部	匡代 (立憲)
同	石川	博崇 (公明)
同	片山	大介 (維新)
同	川合	孝典 (民主)
同	井上	哲士 (共産)
同	船後	靖彦 (れ新)
同	伊波	洋一 (沖繩)
同	齊藤	健一郎 (N党)